

**製品名: XRN2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19977**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	108kDa

**抗原情報**

遺伝子名	XRN2
別名	XRN2; 5'-3' exoribonuclease 2; DHM1-like protein; DHP protein
遺伝子 ID	22803.0
SwissProt ID	Q9H0D6
免疫原	抗血清はヒト XRN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

**背景**

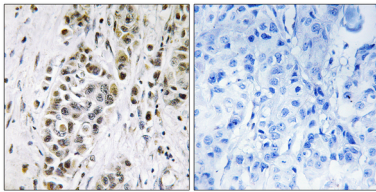
この遺伝子は、共転写切断部位における転写終結を促進する 5'-3'エキソヌクレアーゼをコードする。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015年12月],触媒活性: 5'から3'方向へのエキ

ソヌクレアーゼ切断によりヌクレオシド 5'-リン酸が生成する。機能: 5'→3'エキソリボヌクレアーゼ活性を有する (類似性による)。RNA ポリメラーゼ II による転写終結を促進する可能性がある。転写終結の過程では、ポリアデニル化部位での切断により 5'断片が遊離し、これがその後処理されて成熟 mRNA が形成される。3'断片は伸長中のポリメラーゼに結合したままとなる。このタンパク質による 3'断片の連続的分解は、転写終結を促進する可能性がある。類似性: 5'-3'エキソヌクレアーゼファミリーに属する。XRN2/RAT1 サブファミリー。類似性: CCHC 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。組織特異性: 脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸、末梢血白血球、心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓に発現する。アイソフォーム 2 は主に末梢血白血球に発現する。

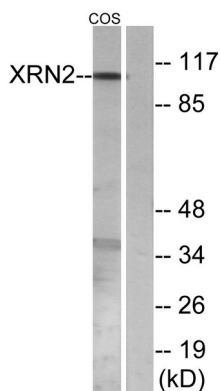
## 研究分野

RNA 分解

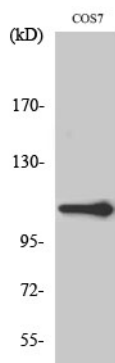
## 画像データ



XRN2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



XRN2 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



XRN2 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。